

## 6月定例会

# 一般質問

6月定例会では13人の議員が市政に対する一般質問を行いました。



一般質問とは、議員が高山市政全般にわたり、事務執行の状況及び将来に対する方針などについて所信を質すとともに、報告、説明を求め疑問を質すものです。

QRコードから各議員の一般質問をご覧いただけます。  
配信は会議録が調製され次第終了します。  
(タブレット・スマートフォンに対応。通信料は別途発生します。)

## 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種

高山市政クラブ  
笠原 等



**問** コロナワクチン接種への重要な視点は任意であり義務ではない。個々の体質等により未接種を選択される場合もある。集団免疫の獲得の思考から、未接種の方へのハラスメントが生じることも懸念される。自己決定権の尊重、接種の有無に関するハラスメントへの対応は。

**答** 今回の接種は「接種を受けるよう努めなければならない」という「努力義務」と呼ばれている。一方、体質などで接種を受けたくても受けられない方がいる。接種を受けていない方に差別的な扱いをすることのないよう市民への周知に努めていく。



## 環境配慮型トイレの 配備と普及への考えは

高山市政クラブ  
石原正裕



**問** 環境に関するトイレの課題や地域状況におけるトイレの需要もある。バイオトイレは技術の進歩により、様々な場面で活用可能であるが設備として災害時等での配置、普及としては山岳や下水道が整っていない箇所への配置等飛騨高山SDGsの視点からも取り組む考えは。

**答** 飛騨高山SDGsに取り組むうえで、観光客を迎え入れる環境づくりとして、公衆トイレは重要な役割であり、環境配慮型トイレの配備や普及も有効な取組である。上下水道を整備できない地域等の積極的な活用を図るとともに新しい技術についても研究していく。



五色ヶ原 バイオトイレ

## 飛騨高天原の魅力を 活かした南玄関の活性化

高山市政クラブ  
西本泰輝



**問** あららぎ湖を含む位山 飛騨高天原地域の魅力を活かし、市の南玄関として活性化を図れないか。また、一之宮と久々野のまちづくり協議会の広域的な地域づくりへの人的・財政的支援、さらに、主要地方道宮萩原線の全線2車線化実現を。

**答** 具体的な計画等はないが、地域活性化要素の一つとして地域の方々の意見を伺っていく。まち協への支援は、具体的な話があれば協働のまちづくり支援金の活用等まち協と相談を進める。宮萩原線は、飛騨地域基盤整備促進期成同盟会で拡幅事業の早期完成を継続要望する。



地区公園のあららぎ公園